2024年度　いちじく病害虫防除暦　露地

農薬取締法では、農薬使用者の責務や、遵守義務規定、努力規定が定められています。ルールを守って正しく使用しましょう。 JA氷見市　いきいき直売の会　果樹部会

回数	散布時期(生育ステージ)	主な対象病害虫	薬　剤　名	散布濃度	10a当たり散布量(ﾘｯﾄﾙ)	収穫前日数/使用回数	水100L当たり薬量	使用上の注意点	散布日
1	3月下旬～4月上旬	越冬病害虫	石灰硫黄合剤	7倍	200	発芽前/－	14L	・風のない日に丁寧に散布する。	月　日
2	4月(発芽前)	カミキリムシ類	ガットサイドS	原液塗布	－	7日前/3回	－	・カミキリムシ類発生園はガットサイドSを4月中に原液塗布する。	月　日
臨時	4月(発芽前)	クワカミキリ	園芸用キンチョールE	食入部にノズルを差し込み、薬剤が食入部から逆流するまで噴射する。		前日/2回	－	・クワカミキリの幼虫が、木くず、虫ふんを出すので食入孔から 園芸用ｷﾝﾁｮｰﾙEを噴霧し殺虫する。 ・木くず・虫ふんを目安に小刀等で削り幼虫を捕殺する。	月　日
3	6月上旬(着果始期)	疫　病	Zボルド ー クレフノン	1，000倍 200倍	200	－/－ －/－	100g 500g	・銅剤による薬害防止のため、クレフノンを加用する。 これ以降銅剤を使用する場合は必ずクレフノンを加用すること。 ・疫病の感染初期なので、前年多発園地や多雨年には特に注意する。 ・土壌から病原菌の跳ね返りを防ぐため、敷ワラ、マルチをする。	月　日
4	6月20日頃	アザミウマ類 疫　病	ダントツ水溶剤 Zボルド ー クレフノン	2，000倍 1，000倍 200倍	200	3日前/3回 －/－ －/－	50g 100g 500g	・1～2段目の果実の目がわずかに開く頃（果実の横径20～25㎜の頃）が散布の目安。 ・疫病の発生果実はほ場内に放置せず、ほ場外へ持ち出し処分する。 ・反射マルチ(シルバーシート)を樹冠下に設置することにより、アザミウマ類による被害軽減効果がある。	月　日
5	7月上旬	アザミウマ類 疫　病	モスピラン顆粒水溶剤 ランマンフロアブル	2，000倍 2，000倍	200	前日/3回 前日/3回	50g 50ml	・6月中旬から7月下旬にかけて、キボシカミキリ及びクワカミキリの成虫が発生するので、見つけ次第捕殺する。 ・多雨が病気発生を助長するので、薬剤散布の間隔を詰め、排水対策を徹底する。	月　日
臨時	7月中～下旬	カミキリムシ類	ガットサイドS	原液塗布	－	7日前/3回	－	・薬液が新梢、葉に付着すると薬害を生じるおそれがあるので、樹幹のみに塗布する。 ・株枯病を確認したら、根部まで掘り下げ抜き取りを行う。	月　日
6	7月中旬	アザミウマ類 疫　病	ダントツ水溶剤 ライメイフロアブル	2，000倍 3，000倍	200	3日前/3回 前日/3回	50g 33ml		月　日

臨時	７月～９月	クワカミキリ	園芸用キンチョールＥ ※総使用回数２回のため注意！	食入部にノズルを差し込み、薬剤が食入部から逆流するまで噴射する。		前日/２回	―	・クワカミキリの幼虫が、木くず、虫ふんを出すので食入孔から 園芸用ｷﾝﾁｮｰﾙＥを噴霧し殺虫する。 ・木くず・虫ふんを目安に小刀等で削り幼虫を捕殺する。	月　日
７	８月上旬	アザミウマ類 黒かび病	スカウトフロアブル トップジンM水和剤	２，０００倍 １，０００倍	200	前日/３回 ７日前/５回	50ml 100g	・収穫期が近づくため、収穫前日数に注意し使用基準を遵守する。 ・９月は、キボシカミキリの発生期に当たるので、多発園ではモスピラン水溶剤 2，000 倍(前日/3 回)を散布する。	月　日
８	８月下旬	アザミウマ類･キボシカミキリ 疫　病	モスピラン顆粒水溶剤 ランマンフロアブル	２，０００倍 ２，０００倍	200	前日/３回前日/３回	50g 50ml		月　日

※散布時期は目安です。生育及び病害虫の発生状況を判断し、適期防除に努めましょう。

※農薬を使用する前にラベルに記載された使用上の注意事項をよく読み、その内容を必ず守ること。（農薬取締法により使用者責任が問われます。）

※散布圃場の周囲へのドリフト（飛散）に注意しましょう。（可能性がある場合は必要な措置を講じるよう努めること）

※園地環境（防風樹の整備・草刈りの徹底）をよくしましょう。散布作業には、マスク、手袋等安全防除衣を着用しましょう。

※疫病多発時には、罹病果実をすべて圃場外に搬出した後に殺菌剤を散布する。その後も圃場を見回り罹病果実は必ず搬出し、菌密度を下げる。

※腐敗果実は、果実腐敗の二次伝染源及びショウジョウバエ類の発生源となるので、ほ場外へ持ち出して処分する。

※ショウジョウバエは、酵母腐敗病の原因となるので、ほ場周囲にショウジョウバエの発生原因となるもの（野菜くずなど）を放置しない。

【除草剤使用欄】

薬剤名	使用時期	使用回数	使用時期	散布量 10a
ザクサ液剤	収穫前日まで	３回以内	／　／　／	L
ラウンドアップﾏｯｸｽﾛｰﾄﾞ	収穫７日前	３回以内	／　／　／	L